

周遊観光ルート創造に向けた山間部道路の賢い運用方法社会実験（宮崎県小林市、綾町）

1. 実験実施の背景

- ・綾町から小林市須木村までの県道宮崎須木線の一部において狭小な幅員箇所があるため、観光周遊の支障となっている
- ・県道宮崎須木線は、山間部では道幅が5.5m未満の対面通行であり、普通車同士の離合にも困難な路線
- ・油津港へ寄港する大型クルーズ船の観光客を対象とした、当地を含む「周遊観光ルート」を設けることが困難な状況

2. 検証項目

●道路の使い方・方法

- ①生活等に対する影響
- ②接触事故等の低減への効果
- ③宮崎須木線の一方通行運用を実施するための調整

●観光への展開

- ④観光・地域活性化への効果

3. 実験内容

【実験地域】県道宮崎須木線

【実験内容】

- ①一方通行規制の実施
 - ・県道宮崎須木線のうち、約16.5kmの区間を時間帯で一方通行
- ②時間帯一方通行と連携したイベント等の実施
 - ・社会実験の実施にあわせてバスツアー、各種連携イベントを実施
- ③アンケート・ヒアリング調査
 - ・道路の使い方・方法、観光への展開について実施



図-3 対象区間の現況

【実施期間】平成29年11月26日（日）～平成29年12月10日（日）



図-1 位置図



図-2 一方通行区間・迂回路

